

令和 5年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 財務課
 担当名: 施設整備担当、財産管理担当
 内線: 6646 (単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
P6	県立学校防音校舎空調設備設置費			一般会計	教育費	教育総務費	教育財産管理費	県立高等学校防音校舎空調設備設置費(令和4年度着工分・継続事業第2年次支出額)	
事業期間	平成3年度～	根拠法令	なし			針路	05 未来を創る子供たちの育成	SDGsゴール	4
						分野施策	0504 質の高い学校教育の推進	SDGsターゲット	4-a
1 事業概要 防衛施設周辺の学校では、自衛隊機の発着陸の際の騒音がひどく、窓の開閉が困難なことから、生徒の健康管理に支障をきたし、学習意欲を削ぐ恐れがある。そこで、自衛隊機が発する騒音の影響を著しく受けている県立学校校舎に空調設備を設置し、学習環境の改善を図る。 空調設備設置費(継続事業2年目) △56,138千円 工事請負費が見込みを下回ったこと等による減				5 事業説明 (1) 事業内容 空調設備設置費(継続事業2年目) 391,034千円 (2) 事業計画 防衛施設周辺の県立学校の校舎に、空調設備を設置する。 令和5年度 工事 狭山経済高(Ⅱ期2年目)、所沢西高(Ⅰ期2年目) (3) 事業効果 快適な学習環境の確保 ア 令和4年度 : 工事 3校(うち2校継続事業1年目)(うち1校継続事業2年目) イ 令和3年度 : 設計 1校 工事 2校(うち1校継続事業1年目) ウ 令和2年度 : 設計 1校 (4) 補正予算の概要 空調設備設置費(継続事業2年目) : 工事請負費が見込みを下回ったこと等による減					
2 事業主体及び負担区分 (国6.5/10・県3.5/10) (国7.5/10・県2.5/10)									
3 地方財政措置の状況 公共事業等債(財対分)(29,000千円)の元利償還金の50%が後年度基準財政需要額に算入される。 防衛施設周辺の整備事業に要する経費があることにより特別交付税の額に算入される。									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.2人=1,900千円									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	補正後の 予算額
		国庫支出金	県 債						
決定額	△56,138	△34,486	△22,000					348	391,034
現計額	447,172	210,578	235,000					1,594	

事業内訳書

事業名	県立学校防音校舎空調設備設置費		
単位事業名	空調設備設置費（継続事業2年目）	予算額	△ 56,138千円

○歳入

（単位：千円）

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
国庫支出金・ 教育総務費補助金	△34,486	—	防衛施設周辺防音事業補助金 補助率 6.5/10、7.5/10
県債・ 教育債	△22,000	—	県立高等学校建設事業債
一般財源	348	—	
合計	△56,138	—	

○歳出

（単位：千円）

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
工事請負費	△56,138	—	見込みを下回ったことによる県立学校2校の工事費の減
合計	△56,138	—	